

令和6年度個別計画事案の概要

ワーキンググループでの協議に基づく活動、各団体・行政の主体的な活動により、全体最適を目指す

●現状・課題（計画抜粋）

- 1 物部川の水は住民生活を支えています（水利用（農業、電力、工業）、レクリエーションの場）
- 2 物部川源流域、上流域の山の荒廃が進んでいます（水源涵養機能低下）
- 3 水量の不足が起こっています（生き物の遡上・降下の障害（瀬切れ、河口閉塞、高水温障害））
- 4 環境基準地点での水質は概ね良好ですが、濁水問題が発生しています（濁水問題（長期濁水、代かき濁水））
- 5 生き物の生育環境の悪化が起こっています（河床形態の変化、川の自浄能力の低下、魚道の機能低下）
- 6 川の景観が損なわれています（河原や河口付近にゴミ等多くの人工物漂着）
- 7 物部川と人とのかかわりが少なくなってきました（流域住民の関心の低下）

●対応・取組（概要）

- 1 環境学習による物部川の役割等の説明
- 2 国有林、民有林における森林整備の促進、シカ食害対策
山の保水力の回復を図るWG
- 3 国交省による河口開削、情報共有
- 4 物部川濁水対策検討会、**代かき濁水対策を進めるWG**
- 5 水生生物の生息に適した川づくり **川本来の姿を取り戻すWG**
- 6 河川愛護月間の物部川一斉清掃（国交省）
- 7 環境学習出前授業による啓発、イベント等での啓発
子どもたちへの環境学習を進めるWG
- 8 利水に関する協議

中長期目標に伴う指標の収集・再検討など

山の保水力の回復を図るWGの取組

- 令和5年度
- ・WG構成団体による活動（間伐、植樹、シカ被害対策、森林ボランティア育成等）
 - ・水環境勉強会「水辺林の調査」の検討（構想案の関係者共有・調整 → 要再検討）

令和6年度（案）

- ・香美市等の取組の情報収集・連携の模索
- ・情報共有しながら個別活動を継続
- ★川本来の水源林とは【水源地対策】の検討等

川本来の姿を取り戻すWGの取組

- 令和5年度
- ・「川本来の姿を取り戻すために（素案）」手引きのHP掲載（9月）、事例収集（～3月）
 - ・水環境勉強会の成果とりまとめ作業、3市広報誌掲載記事案の作成
 - ・WG構成団体による活動（アユ産卵場の造成、濁水調整、選択取水運用の情報共有等）

令和6年度（案）

- ・川本来手引き改訂版の検討（素案から案へ、配慮事例の追加、協議会としての公表等）
- ・情報共有しながら個別活動を継続

代かき濁水対策を進めるWGの取組

- 令和5年度
- ・WG会議の開催（普及啓発方法等協議）（1月）
 - 浅水代かき実践会の開催（3月）

令和6年度（案）

- ・WG会議の開催（普及啓発の具体策の協議）
- 第1回：7月19日開催
- 第2回：12～1月 制作物や啓発方法の検討
- ・浅水代かき実践会の開催（候補地案：香南市）

2つのWGを中心とした取組

- 令和5年度
- ・水環境勉強会の開催（5月・10月 計2回）

令和6年度（案）

- ・水環境勉強会成果とりまとめ作業（上半期）、協議会としての公表等（下半期）
- ★川本来の水とは【濁水対策】のうち特に「発生源対策」の検討、個別活動の連携等

子どもたちへの環境学習を進めるWGの取組

- 令和5年度
- ・「学習講座一覧表」再配布、啓発方法案の検討（11～1月）
 - ・WG構成団体による活動（各環境学習等）

令和6年度（案）

- ・親子環境バスツアーの実施や流域ニュースレターの発行等
- ・WG構成団体による活動（各環境学習等）